

## ガドテル酸メグルミンの「使用上の注意」の改訂について

成分名 該当商品名	成分名	該当商品名（承認取得者）
	ガドテル酸メグルミン	マグネスコープシリンジ、マグネスコープ静注 38%シリンジ 10mL、マグネスコープ静注 38%シリンジ 15mL、マグネスコープ静注 38%シリンジ 20mL（ゲルベ・ジャパン株式会社）
効能・効果	磁気共鳴コンピューター断層撮影における下記造影 脳・脊髄造影 躯幹部・四肢造影	
改訂の概要	<p>1.①「警告」の項に「腎性全身性線維症」を追記する。</p> <p>②「慎重投与」の項の「腎機能が低下している患者」を「腎障害のある患者又は腎機能が低下しているおそれのある患者」に変更する。</p> <p>③「重要な基本的注意」の項に「腎機能の評価」及び「他の検査法で代替することが望ましい病態」に関する記載を追記する。</p> <p>④「その他の注意」の項の「腎性全身性線維症」を削除し、「重大な副作用」の項に「腎性全身性線維症」を追記する。</p> <p>2.「重要な基本的注意」の項に類薬記載として「遅発性のショック、アナフィラキシー様症状」に関する記載を追記する。</p>	
改訂の理由及び調査の結果	<p>1.「腎性全身性線維症」 国内での症例の集積はないが、Company Core Data Sheet (CCDS) *の記載状況などを勘案し、ガドリニウム造影剤全体の使用上の注意の見直しを行い、専門委員の意見も踏まえた調査の結果、改訂することが適切と判断した。</p> <p>2.「遅発性のショック、アナフィラキシー様症状」 国内での症例の集積はないが、ガドリニウム造影剤全体の使用上の注意の見直しを行い、専門委員の意見も踏まえた調査の結果、改訂することが適切と判断した。</p>	
直近 3 年の国内副作用症例 の集積状況 【副作用転帰死亡症例】	<p>「腎性全身性線維症」0 例</p> <p>「遅発性のショック、アナフィラキシー様症状」0 例</p>	

\*：医薬品の承認取得者が作成する、安全性、効能・効果、用法・用量、薬理学的情報及び当該医薬品に関するその他の情報が含まれている文書